

# 自分のやるべきことをやる



尾身 茂  
〔医師・公益財団法人結核予防会理事長〕

われわれの生命は与えられるものです。自分だけで生まれ、自分で好きなように生きてきたわけではありません。もちろん、生命には皆価値がありますが、両親からの遺伝子や環境など、それぞれが与えられる個性は違います。それぞれの個性に応じて悔いのないように生きるということが大事です。

困難がない人生はありません。われわれは子どものころから、家族や社会からさまざまなことを求められ、つまり課題を与えられながら生命を少しずつつくり上げていきます。そして、研究者、工場で働く人、教師、新聞記者、さまざまな職業に就き、「いろいろ大変だったけれど、十分生きてやることをやった」と思って死ぬために、さまざま困難と向き合い、与えられた生命をどうやって開花させたらいいかを考えながら生きています。

そのために自分や家族の幸福を求めることは必要ですが、それだけでは十分ではありません。人間は社会とどこかでつながり、他の人に貢献していると思えなければ充実感を持ってない生き物だからです。

そこでどうすればよいかは、与えられた環境がそれぞれ違うので、自分の頭で考えるしかありません。特に若い人に必要なのは、遊びでも、仕事でも、いろいろなことに一生懸命に、真剣に取り組んで失敗することです。そうしないと、自分は何が好きで、何ができるのかがわからないからです。

その上で、「得意に帆を揚げる」ことをお勧めします。つまり機を捉えて自分が好きなこと、得意なことに取り組むのです。人生に困難は付きもので、人間は弱いものですが、好きなことなら乗り越えられるからです。